

<認知症対応型共同生活介護用>

<小規模多機能型居宅介護用>

## 評価結果報告書

### 地域密着型サービスの外部評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	10
1. 理念の共有	1
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	4
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	1
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	1
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	0
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	5
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	1
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	0
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	3
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	7
1. その人らしい暮らしの支援	5
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
合計	23

事業所番号	1475201107
法人名	特定非営利活動法人のぞみ
事業所名	のぞみの家 宮内
訪問調査日	令和5年3月15日
評価確定日	令和5年5月8日
評価機関名	株式会社 R-CORPORATION

#### ○項目番号について

外部評価は23項目です。

「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。

「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。

#### ○記入方法

[取り組みの事実]

ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。

[次ステップに向けて期待したい内容]

次ステップに向けて期待したい内容について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

#### ○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者（経営者と同義）を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

令和4年度

## 自己評価及び外部評価結果

### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1475201107	事業の開始年月日	平成17年5月1日
		指定年月日	平成18年5月1日
法人名	特定非営利活動法人のぞみ		
事業所名	のぞみの家 宮内		
所在地	(2110051 ) 川崎市中原区宮内3-10-3		
サービス種別 定員等	<input type="checkbox"/> 小規模多機能型居宅介護	登録定員	名
	<input checked="" type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護	通い定員	名
		宿泊定員	名
		定員計	18名
		ユニット数	2ユニット
自己評価作成日	令和5年3月6日	評価結果 市町村受理日	令和5年5月11日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	
----------	--

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

家庭的な雰囲気の中で必要な介護を受けて頂き、その人らしい生き方ができるよう入居者を支援致しております。
---

### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 R-CORPORATION		
所在地	〒231-0023 横浜市中区山下町74-1 大和地所ビル9F		
訪問調査日	令和5年3月15日	評価機関 評価決定日	令和5年5月8日

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

<p>●この事業所は、特定非営利活動法人のぞみの経営です。この法人は、横浜・川崎・藤沢にグループホーム5事業所を運営し、近々鎌倉に新規事業所を開設予定です。この他にも訪問介護、居宅介護支援事業所を展開し、また、系列会社である株式会社リフレでは、介護付有料老人ホーム・共同住宅・食材卸売・配送業務を展開しています。ここ「のぞみの家宮内」は、JR南武線の武蔵中原駅から徒歩15分の場所にあり、駐車場を挟んで隣接して同法人のグループホーム「のぞみの家i(あい)」があります。</p> <p>●事業所では、昨年管理者の交代があり、昨年の8月から新しい管理者が着任しています。新たに着任した管理者は「自分の親や知人が介護が必要になった時、安心してお願いできるやさしさと思いやりのある」事業所作りを目指し、「やさしさと思いやりのある」介護の実践に向けて、まずは職員の体制や職場環境の整備に注力しています。毎月1回全職員と面談を実施し、職員からの件を集約したうえで働き方や業務内容などの見直しを図り、職員が心にゆとりを持って利用者のケアを行えるよう、改善に取り組んでいます。それと同時に、管理者の指導の下に職員の接遇の強化を図り、利用者が安心できる生活の場を提供できるようにも努めています。</p> <p>●事業所では、災害に備えて備蓄品の整備や災害時における対策（避難場所やハザードマップの確認）も講じて有事に備えています。水や食料などの賞味期限の管理、備蓄品リストを見直し、明白な保管場所の指定、それぞれの分野の担当者を決めるなど、職員の意識改革につなげていきたいと思います。</p>
---

### 【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 10
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	11
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	12 ~ 16
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	17 ~ 23
V アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	のぞみの家 宮内
ユニット名	1F

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	<input type="radio"/>	1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/>	1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3, たまに 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="radio"/>	1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3, あまり増えていない 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働けている。 (参考項目：11, 12)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3, 職員の1/3くらいが 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3, 家族等の1/3くらいが 4, ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	全体会議や申し送り等で理念につき触れている。コロナ禍の影響もあり地域住民との交流は難しい状況にあるが、少しずつできるところから変えていきたい。	法人理念の「安心・安全・快適な福祉サービス提供」を玄関に掲示し、全体会議や申し送り等で理念について振り返りを行っています。一人ひとりの職員が働きやすい環境作りをしていくことが、利用者の快適な生活につながると考え、環境整備に取り組んでいます。	今後の継続
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	運営推進委員会にはご家族の方にもご出席頂いている。Withコロナということで来年度からは地域の行事等に参加予定。	自治会に加入しています。コロナ禍以前は、宮内会館での認知症カフェ「喫茶宮内」の手伝いや、地域の夏祭りの神輿の休憩所として駐車場を提供するなど、地域との交流がりましたが、現在は中止となっています。今後、社会情勢を見ながら、地域との関わりやボランティアの受け入れを再開する予定としています。	今後の継続
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	2-3か月ごとに運営推進委員会を実施。また。同様に連絡協議会にも参加している。	/	/
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2-3か月ごとに運営推進委員会を実施。また。同様に連絡協議会にも参加している。	コロナ禍で書面を郵送していましたが、12月・3月の2回は、コロナ対策を講じながら対面で開催しました。家族代表・町内会長・民生委員・宮内地域包括支援センター・わかば会会長・近隣の特養施設長などに参加いただき、事業所の現状と課題、これからの取り組みについて報告を行っています。	今後の継続
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	2-3か月ごとに運営推進委員会を実施。また。同様に連絡協議会にも参加している。事故が発生した場合は、事故の内容に応じて速やかに当局へ報告している。	中原区グループホーム連絡協議会に参加しており、11月に宮内公民館で、9ヶ所のグループホームと宮内地域包括、市の担当職員が参加して、それぞれの分野での福祉事業の在り方や今後の課題等の説明がありました。他の施設からの虐待・身体拘束等の研修会のお誘いをいただくなど、他の事業所との交流も持っています。	今後の継続

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束をしないケアを徹底、実施している。拘束とは何か、も含め日頃から話しをしている。	日頃から身体拘束をしないケアを徹底し、定期的開催している外部研修や内部研修で再認識し、身体拘束をしないケアの実践につなげています。日中は、玄関の施錠は行わず、見守りで対応するなど、少しでも閉鎖感を感じないよう支援に努めています。	今後の継続
7	6	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待をしないケアを徹底、実施している。拘束とは何か、も含め日頃から話しをしている。	虐待をしないケアでは、身体拘束と併せて研修を実施している他、ミーティング時にも意見交換を行うことで共通認識を図り、虐待防止に努めています。スピーチロックが聴かれた場合は、その場で説明し虐待につながらないように意識づけを行っています。	今後の継続
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	充分に実施はできていない。今後“学ぶ機会”を作りたい。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	実施している。		
10	7	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	管理者会議、全体会議にて共有し実施している。	契約時に重要事項説明書に明記している苦情相談窓口について説明しています。基本的には面会時に意見や要望を直接聞いていましたが、コロナ禍以降は面会制限を設けており、現在は、電話連絡時の近況報告と合わせて、意見や要望を伺っています。家族からの意見や要望は書面に残し、全職員で共有し対応しています。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	8	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	個人面談や全体会議等で意見を聴き反映させている。	昨年8月より管理者の交代があり、親睦を深めるために全職員を対象にした個人面談を毎月1回行っています。全体会議の中でも意見を聴いており、他の職員の意見を集約したうえで業務内容の見直し、研修内容を決めています。	今後の継続
12	9	○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	実施している。	就業規則に則り、勤務・サービス・給与・休暇などの規則や規定について説明しています。職員の勤怠管理については、年1回の健康診断、有給休暇取得を促すなどワークライフバランスに配慮しています。シフト作成時には、職員の希望休みや勤務時間に配慮しながら作成しています。	今後の継続
13	10	○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	各研修の推奨を適宜実施。法定研修を毎月実施。	職員の育成には、実務者研修の費用や交通費の負担をするなど、職員が向上心を持って働けるよう体制を整えています。年間研修計画を作成し、個々に声掛けをして外部研修、勉強会への参加を促しています。入職時にはOJTにて業務の流れや利用者の情報について指導を行っています。	今後の継続
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	コロナ禍で難しい状況ではあったが少しずつ改善していく。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	そのように指導し、実施に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	そのように指導し、実施に努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	そのように指導し、実施に努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	そのように指導し、実施に努めている。(最近は“尊厳”という言葉を意識的に使い指導している。)		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族に随時現状を報告しご本人の状態を理解していただき、共に出来る事を考えています。		
20	11	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	コロナ禍の状況で実施が難しい状況ではあったが周りの状況も見極めて実施していきたい。	入居前の面談で、馴染みの人や場所に関する情報を聴き取り、入居後も馴染みの人や場所との関係を継続できるよう支援しています。コロナ禍により、馴染みの人や場所との関係を継続するのが難しい状況ですが、今年の1月からは玄関先での面会を再開しています。	今後の継続

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	そのように指導し、実施に努めている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	そのように指導し、実施に努めている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	12	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	難しい課題ではあるがフェイスシートを見直したり、家族と話しをし把握できるよう指導し務めている。	入居前の面談で本人・家族・介護支援専門医から聴き取った情報を基にフェイスシートを作成しています。その後は、日々の関わりの中で得られた気づきや、本人の発した言葉を共有し、本人本位に検討しながら、思いや意向の把握に努めています。七夕の時には、短冊に願いを書いていただき、対応出来る事柄については意向に沿えるよう支援しています。	今後の継続
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	フェイスシートを見直したり、本人はもちろん家族と話しをし把握できるよう指導し務めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	自立を尊重し、できることはやって頂くよう指導し努めている。		



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	13	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	絵に描いた餅にならないよう現実的なケアプランを作成するよう指導、努めている。また、ケアプランにそった介護を実践するよう指導している。	入居時のアセスメントで得られた情報を基に、初回の介護計画を作成し、1ヵ月を目安に様子を見ながら細かい情報の収集に努めています。その後は、毎月の職員会議で利用者全員のモニタリングを行い、日々の記録や職員の気づきを踏まえてアセスメントを行い、介護計画の見直しにつなげています。短期は6ヶ月、長期は1年としていますですが変化がある場合随時更新しています。また、その際には、本人、家族からも意見を聴くようにしています。	今後の継続
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	そのように実施している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	そのように実施している。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	そのように実施している。		
30	14	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	そのように実施している。	入居時に事業所の協力医について説明し、本人と家族の意向を尊重して、主治医を決めていただいています。現在は全員が協力医療機関に切り替えており、月2回の訪問診療を受診しています。利用者によっては3ヶ月に1回、眼科の訪問診療を受診しています。歯科は希望者のみ契約し、適宜治療や口腔ケアを受けています。	今後の継続

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	そのように指導、実施している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	そのように実施している。		
33	15	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	そのように実施、指導している。	入居時に「重度化した場合の対応に係る指針」を説明しています。看取りケアの開始は、医師により医学的に回復の見込みがないと判断された場合に、主治医から直接、利用者・家族に病状説明及び判断内容について説明していただくようにしています。	今後の継続
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	十分に実施はできていない。今後の課題の一つ。		
35	16	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	そのように実施している。	年2回の消防訓練は、隣接している同法人の「のぞみの家i」と合同で実施しています。多摩川の氾濫浸水地区に指定されているため、垂直の避難訓練も合わせて行っています。年2回の防災設備業者による設備点検も実施しています。備蓄については、3日分の水や食料品、懐中電灯、ラジオ、衛生用品を準備しています。	今後の継続

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	17	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	そのように指導し対応している、、、が徹底できていない職員もいる。	入職時のオリエンテーションで、接遇・倫理・法令遵守について研修を行い、入職後も申し送りや会議などに話し合う機会を設け、個人情報保護や守秘義務の重要性について周知徹底しています。排泄介助の声掛けや入浴介助を行う際には、尊厳を持ちプライバシーや羞恥心に配慮したケアに努めています。	今後の継続
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	そのように指導し働きかけるよう努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その人のペースに合わせてその人らしさができるように支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	なかなかおしゃれにまで気を使えない状況。今後の課題の一つ。		
40	18	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	正しい姿勢、正しい自助具で食事をして頂くよう努めている。	食事については、法人内の系列会社から、管理栄養士が作成したメニューと食材が届き、個々の状況に応じた食事形態で提供しています。正月のおせち料理・節分の恵方巻・ひな祭りのちらし寿司などの季節行事食も取り入れいつもと違う雰囲気の食事を味わって頂いています。テーブルふきや食器洗い、お盆ふきなどを手伝って頂き、残存能力の維持につなげています。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	そのように実施している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	そのように実施している。		
43	19	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	そのように、指導・実施している。	排泄チェックシートを利用し、一人ひとりの排泄パターンの把握に努め、時間やタイミングを見図り声掛けでトイレ誘導にて排泄支援をしています。トイレでの排泄を促すことでオムツの使用量を減らし、残存能力を維持できるよう支援しています。	今後の継続
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	なるべく体を動かして頂くよう努めている。十分な水分摂取、体操など行って頂くよう努めている。		
45	20	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	その都度入居者の状態を観察したうえで入浴の支援を実施している。	入浴前にはバイタルチェックと共に、本人の希望を確認したうえで入浴を促しています。基本的には週2回、月8回の入浴を目標に入浴支援を行なっています。入浴拒否のある方は無理強いせず、時間をずらなど気持ちが変わるのを待つよう心がけています。季節のゆず湯やしょうぶ湯で季節を感じていただけるようにしています。	今後の継続

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	そのように指導し、実施に努めている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	そのように指導し、実施に努めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	フェイスシートを見直したり、家族と話しをし支援できるよう指導し務めている。		
49	21	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	コロナ禍の影響で実施が難しい状況。来年度あたりから少しずつ改善していく。	コロナ禍で、人込みが多い場所や買い物などを避け、施設内で過ごすことが多くADLの低下も見られるので、少しずつではありますが、隣のコンビニへ買い物客が少ない時間帯に出かけるなど、外出支援を再開したいと考えています。	今後の継続
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	当施設としては金銭については基本的に事務所で預らせて頂いています。入居の際にその旨説明済み。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	そのように対応している。		
52	22	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	清潔、安全を心がけそのように対応している。	共有空間は、清潔と安全を心掛け早番と夜勤者が清掃を行い、室温、照明にも配慮して居心地の良い空間作りを心掛けています。窓を開けての換気や、定期的にアルコール消毒を行い感染症対策を行っています。季節を感じていただける様なレクリエーションを毎月設けています。	今後の継続
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	そのように対応している。（必要であれば職員が介入している。）		
54	23	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	FAとも話しをしそのように対応している。	入居時には使い慣れた家具や寝具を持ち込んで頂き、利用者にとって居心地よく過ごせる居室作りをお願いしています。ADLの変化によりご家族と相談しながらベッドの位置を変えたり、模様替えを行うこともあります。温度計、湿度計は各居室に設置しており、快適に過ごせるよう配慮しています。	今後の継続
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	そのように対応している。（必要であれば居室に手摺を作ったり、ベッドではなく布団で対応している。）		

目 標 達 成 計 画

事業所 のぞみの家 宮内 1F

作成日 令和5年3月15日

〔目標達成計画〕

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	30, 31, 32, 41, 42, 43, 44, 45, 46, 47,	1. 尿路感染症による入院を防ぐ。 2. 誤嚥性肺炎による入院を防ぐ。 3. 転倒による入院を防ぐ。	稼働率100%を目指す。	1. 定期的な入浴。定期的なトイレ誘導、排泄介助。陰部の清潔保持。適切な水分摂取。十分な睡眠。2. 適切な口腔ケア。歯科医師による定期健診。本人のペースに合わせた食事介助。適切な食形態。適切なトロミ量。正しい姿勢での食事摂取。適切な水分摂取。3. 下肢筋力の維持・向上。見守りの強化。職員の意識向上。適切な水分摂取。適宜センサー設置。適宜車椅子使用。ヒヤリハットの作成	1年
2	1, 2, 3, 4, 5, 8, 10, 11, 12, 13, 14, 34, 35,	1. 職業人としての意識向上。 2. 充実した研修体制。	やりがいのある職場作り。	1. 時間に来て、時間に帰れるよう自分で仕事を組み立てられるよう工夫。所定の休憩時間の確保。勝手にシフトをかえるようなことはしない。健康管理。定期面談。2. 資格所得の支援。定期的な研修、勉強会の実施。	1年
3	6, 7, 15, 16, 18, 19, 20, 21, 22, 23, 24, 25, 26, 27, 28, 29, 33, 36, 37, 38, 39, 40, 48, 49, 50, 51, 52, 53, 54, 55,	1. 現実的なケアプランの作成。	ケアプランにそった介護の実践。	1. 定期的な担当者会議、モニタリングを実施。具体的なケアプランにそって介護サービスを実施するよう指導する。	1年

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。

事業所名	のぞみの家 宮内
ユニット名	2F

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	<input type="radio"/>	1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている。 (参考項目：30, 31)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/>	1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3, たまに 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="radio"/>	1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3, あまり増えていない 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働けている。 (参考項目：11, 12)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3, 職員の1/3くらいが 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3, 家族等の1/3くらいが 4, ほとんどいない



自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	全体会議や申し送り等で理念につき触れている。コロナ禍の影響もあり地域住民との交流は難しい状況にあるが、少しずつできるところから変えていきたい。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	運営推進委員会にはご家族の方にもご出席頂いている。Withコロナということで来年度からは地域の行事等に参加予定。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	2-3か月ごとに運営推進委員会を実施。また。同様に連絡協議会にも参加している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2-3か月ごとに運営推進委員会を実施。また。同様に連絡協議会にも参加している。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	2-3か月ごとに運営推進委員会を実施。また。同様に連絡協議会にも参加している。事故が発生した場合は、事故の内容に応じて速やかに当局へ報告している。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束をしないケアを徹底、実施している。拘束とは何か、も含め日頃から話しをしている。		
7	6	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待をしないケアを徹底、実施している。拘束とは何か、も含め日頃から話しをしている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	十分に実施はできていない。今後“学ぶ機会”を作りたい。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	実施している。		
10	7	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	管理者会議、全体会議にて共有し実施している。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	8	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	個人面談や全体会議等で意見を聴き繁栄させている。		
12	9	○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	実施している。		
13	10	○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	各研修の推奨を適宜実施。法定研修を毎月実施。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	コロナ禍で難しい状況ではあったが少しずつ改善していく。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	そのように指導し、実施に努めている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	そのように指導し、実施に努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	そのように指導し、実施に努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	そのように指導し、実施に努めている。(最近は“尊厳”という言葉を意識的に使い指導している。)		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族に随時現状を報告しご本人の状態を理解していただき、共に出来る事を考えています。		
20	11	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	コロナ禍の状況で実施が難しい状況ではあったが周りの状況も見極めて実施していきたい。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	そのように指導し、実施に努めている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	そのように指導し、実施に努めている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	12	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	難しい課題ではあるがフェイスシートを見直したり、家族と話しをし把握できるよう指導し努めている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	フェイスシートを見直したり、本人はもちろん家族と話しをし把握できるよう指導し努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	自立を尊重し、できることはやって頂くよう指導し努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	13	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	絵に描いた餅にならないよう現実的なケアプランを作成するよう指導、努めている。また、ケアプランにそった介護を実践するよう指導している。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	そのように実施している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	そのように実施している。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	そのように実施している。		
30	14	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	そのように実施している。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	そのように指導、実施している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	そのように実施している。		
33	15	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	そのように実施、指導している。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	十分に実施はできていない。今後の課題の一つ。		
35	16	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	そのように実施している。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	17	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	そのように指導し対応している、、、が徹底できていない職員もいる。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	そのように指導し働きかけるよう努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その人のペースに合わせてその人らしさができるように支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	なかなかおしゃれにまで気を使えない状況。今後の課題の一つ。		
40	18	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	正しい姿勢、正しい自助具で食事をして頂くよう努めている。		



自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	そのように実施している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	そのように実施している。		
43	19	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	そのように、指導・実施している。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	なるべく体を動かして頂くよう努めている。十分な水分摂取、体操など行って頂くよう努めている。		
45	20	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	その都度入居者の状態を観察したうえで入浴の支援を実施している。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	そのように指導し、実施に努めている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	そのように指導し、実施に努めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	フェイスシートを見直したり、家族と話しをし支援できるよう指導し務めている。		
49	21	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	コロナ禍の影響で実施が難しい状況。来年度あたりから少しずつ改善していく。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	当施設としては金銭については基本的に事務所で預らせて頂いています。入居の際にその旨説明済み。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	そのように対応している。		
52	22	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	清潔、安全を心がけそのように対応している。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	そのように対応している。（必要であれば職員が介入している。）		
54	23	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	FAとも話しをしそのように対応している。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	そのように対応している。（必要であれば居室に手摺を作ったり、ベッドではなく布団で対応している。）		

# 目 標 達 成 計 画

事業所           のぞみの家 宮内 2F          

作成日           令和5年3月15日          

〔目標達成計画〕

優 先 順 位	項 目 番 号	現状における 問題点、課題	目 標	目標達成に向けた 具体的な取組み内容	目標達成に 要する期間
1	30, 31, 32, 41, 42, 43, 44, 45, 46, 47,	1. 尿路感染症による入院を防ぐ。 2. 誤嚥性肺炎による入院を防ぐ。 3. 転倒による入院を防ぐ。	稼働率100%を目指す。	1. 定期的な入浴。定期的なトイレ誘導、排泄介助。陰部の清潔保持。適切な水分摂取。十分な睡眠。2. 適切な口腔ケア。歯科医師による定期健診。本人のペースに合わせた食事介助。適切な食形態。適切なトロミ量。正しい姿勢での食事摂取。適切な水分摂取。3. 下肢筋力の維持・向上。見守りの強化。職員の意識向上。適切な水分摂取。適宜センサー設置。適宜車椅子使用。ヒヤリハットの作成	1年
2	1, 2, 3, 4, 5, 8, 10, 11, 12, 13, 14, 34, 35,	1. 職業人としての意識向上。 2. 充実した研修体制。	やりがいのある職場作り。	1. 時間に来て、時間に帰れるよう自分で仕事を組み立てられるよう工夫。所定の休憩時間の確保。勝手にシフトをかえるようなことはしない。健康管理。定期面談。2. 資格所得の支援。定期的な研修、勉強会の実施。	1年
3	6, 7, 15, 16, 18, 19, 20, 21, 22, 23, 24, 25, 26, 27, 28, 29, 33, 36, 37, 38, 39, 40, 48, 49, 50, 51, 52, 53, 54, 55,	1. 現実的なケアプランの作成。	ケアプランにそった介護の実践。	1. 定期的な担当者会議、モニタリングを実施。具体的なケアプランにそって介護サービスを実施するよう指導する。	1年

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。